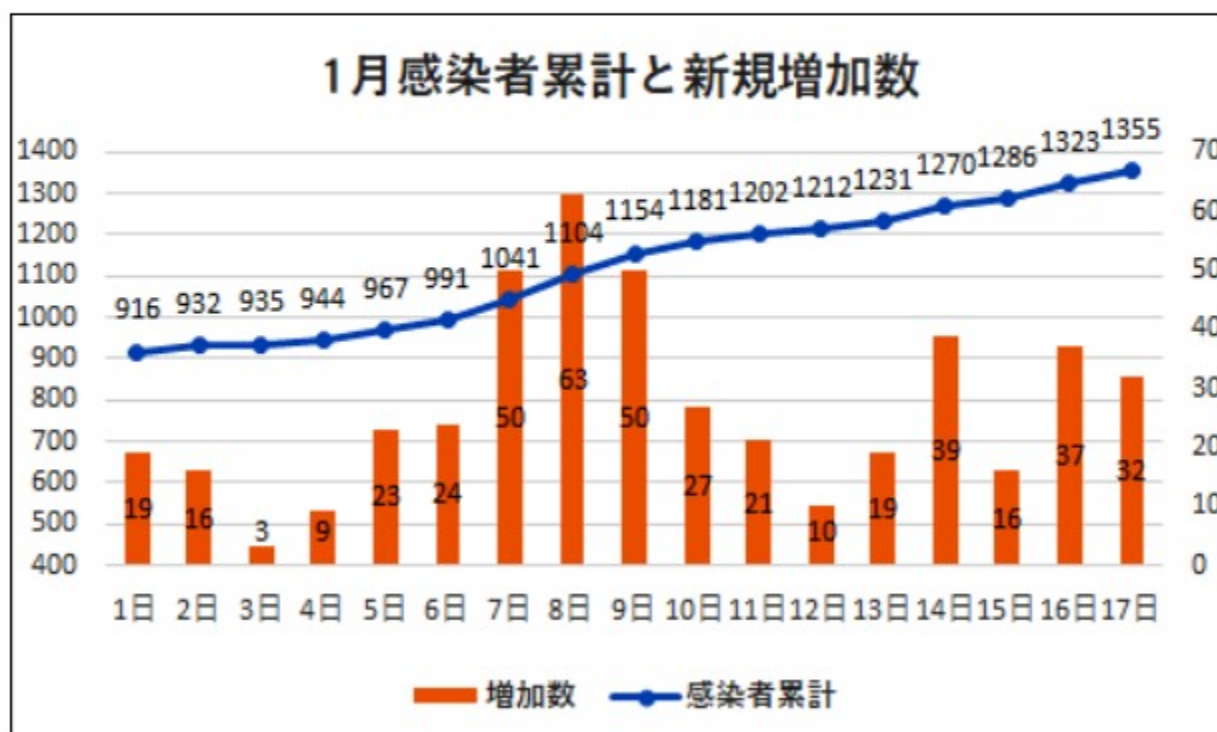


1月に半月余りで感染者439名増加



区内のコロナ感染死亡者数は、これまで7名でしたが、区内の感染者数が大きくなった12月中旬から1月13日の1か月間で6名の方がお亡くなりになっています。ご冥福をお祈りいたします。

他人事ではない心配な状況が広がっていると思います。PCR検査の拡大と医療支援、保健所の体制強化がどうしても必要です。

陽性者数(累計)	85,470人
入院	3,045人
軽症・中等症	2,907人
重症	138人
宿泊療養	831人
自宅療養	9,043人
入院・療養等調整中	7,727人
死亡	725人
退院等(療養期間経過を含む)	64,099人

感染状況の公表は東京都と同様に出来ないか

荒川区のホームページでは感染者数・入院・宿泊療養等しかされていません。1月19日の区議会特別委員会報告でも同様でした。

東京都では左のように入院は症状別・宿泊等ではなく自宅療養の数も別に記載、入院調整中、死亡、退院となっています。

委員会で我が党の委員が質疑しても、正確な数字は答えませんでしたので、改めて数字を聞きました。

直近1カ月の状況(1月13日現在)は左記のとおりとなっています。荒川区でも自宅療養・入院調整中が増えています。必要な支援の強化と対策が必要です。

入院	57
宿泊療養	16
自宅療養	75
入院療養調整中	67



町会にコロナ対策で一律30万円？！

荒川区が町会にコロナ対策として一律30万円が支給されました。いったい何に使ったらよいのか困っています。マスクを配る？消毒薬を配る？どこのお宅もそれぞれに合ったものを購入していますし、以前のように不足していることはありません。

しかも一律ですから、加入世帯の多い町会はどうしたらいいのでしょうか。逆に迷惑です。

大変な状況の保健所の応援に緊急アルバイトを募集するとか、無症状の若者感染者のことが言われていますから、早く大きく網をかけるPCR検査を実施するとか、別なところに税金を使った方がよいのではないのでしょうか。

申し訳ありません。私、区議会議員は全く知りませんでした。調べましたら東京都の補助金制度で町会・自治会が1月18日から3月31日の間に実施し、完了する事業を対象にした「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業」というものでした。東京都から区の担当者に連絡があり、荒川区は各町会に情報を提供し、町会から東京都に申請することになります。申請の手続きも終了後の報告提出も町会が自分たちでやることになります。大変ですね。

30万円の使い方は①都が作成した感染予防法対策チラシ及び啓発シールを各戸配布することが必須です。チラシやシール(右が見本)のデーターは送られてきますが必要な枚数の印刷は30万円の中でやることになります。

②除菌シートや除菌スプレー等を購入し、チラシ及び啓発シールと併せて配布する。

③町会・自治会として必要となる物品(アクリル板・非接触型体温計・Wi-Fi機器・パーティション・サーモグラフィ・フェイスシールド・タブレット端末など)の購入

30万円の申請は町会独自の判断ですすすめることで、申請しない選択もありとのことでした。荒川区は120町会ありますから全町会がもらうと3,600万円ですね。

65才以上の高齢者のPCR検査 2月26日から実施します

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、重症化しやすい65才以上で、希望者のPCR検査を無料で行います。

2月11日付の区報で公表することになっています。

実施期間は2月26日(金)から3月25日(木)までの予定です。詳細は後日お知らせしますのでお待ちください。

